

小学生も参加

水辺の環境調査を実施



8月22日(土)、町を流れる水路の河川調査を実施しました。
この調査は町民自身が身近にある水路や河川を見つめなおし、今後の水路、河川のあり方を考えるとともに、調査データを蓄積していくことを目的に毎年実施しています。
今回の調査結果は、町の水辺環境を保全していくうえで貴重なデータとして活用します。

環境防災課 ☎84-0314

小学生もいっしょに学習



点数評価が高かった場所の様子
(中家村クレシア下流水路)

例年、秋に実施していましたが、今年度は、開催時期を夏休みに設定し、「2009ジュニア・スクール」としても参加者を募集しました。その結果、小学生7人が集まり、合計22人で調査を行いました。調査地点は、経年の変化を確認するため、平成19年度から同じ場所の12地点にしています。
参加者は6班に分かれ、各2地点をまわり、水路や河川の護岸の様子などを調べました。各班とも小学生が中心と

なって熱心に調査してました。

各地点の調査を終了した後、調査結果を調査項目の点数化などを行い、調査地点の様子や印象、調査した感想などを発表し合いました。

●主な調査項目

- ・水流の有無
- ・水の透明度、におい
- ・生きものの様子
- ・水辺の触れ合いやすさ
- ・親しみやすさ



発表の様子

点数評価で小学生の視点

各班で調査項目を点数化し集計した結果、植物に囲まれるなど、水に親しみやすい環境の水路が、比較的高い点数になる傾向がありました。しかし、過去の点数と比べると今年は全体的に低い点数

調査の結果

地点番号	地名	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1	金井島234番地北側水路	65	85	65
2	岡野81番地西側水路	65	65	60
3	金井島1280番地付近水路	45	75	56
4	あじさい農道東北部付近水路	55	45	50
5	信栄倉庫横水路	50	40	25
6	上島2735番地付近水路	70	70	45
7	役場北側水路	55	45	50
8	中家村クレシア下流水路	85	85	100
9	中之名430番地付近水路	45	60	50
10	宮台浄蓮院南側水路	50	80	40
11	南部コミュニティセンター西側水路	30	30	45
12	牛島小田原境水路	95	95	85

*平成19年度から定点で調査を実施(合計100満点)

今後の取り組み

今回の調査では、参加者の幅を広げ、新たな発見が多かったことから、来年度も、「ジュニア・スクール」として位置づけ、小学生や親子での参加を呼びかける予定です。皆さんからのご意見を、今後の調査や、水辺環境の保全に役立てていきます。

町の水辺環境をいっしょに守りませんか?

水路や河川の清掃、保全、緑化などのボランティア活動を行うせせらぎボランティアを募集しています。

【ボランティア登録要件】

水路・河川を愛し守ろうとするすべての団体または個人

【町の支援】

登録証の交付、活動のPRに必要な備品の貸し出し
【申込方法】
環境防災課へ所定の申込用紙を提出

【調査結果およびせせらぎボランティアの詳細は、町ホームページに掲載しています。】

http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/

町長が最高齢者を訪問
〜ご長寿おめでとうございます〜

9月17日(木)、町長が町の最高齢者を訪問し、花束と記念品を手渡し、長寿をお祝いしました。

町の最高齢者は、女性の、



町長の訪問にほほえむ永田さん



笑顔で花束を受け取る大槻さん

永田君子さん(牛島)です。明治39年生まれの永田さんは、10月の誕生日を迎えると103歳になります。

永田さんの長生きの秘訣は、しっかり食事をとり、十分な睡眠をとることだそうです。

また、大好きな牛乳、ジュースだけでなく、コーヒーやワインもたしなまれます。

男性の最高齢者は、大槻喜六さん(大房さん方・下延沢)で、明治41年生まれの101歳です。

大槻さんは、テレビで相撲を観るのが大好きだそうです。最近では外国人力士が多いため名前を覚えるのが大変とのことでした。

また、自分の足で階段を昇り降りしたり、廊下を何度も歩いたりするなど、意識して健康管理をされています。お二人とも、ご自宅で元気に過ごされています。ご長寿おめでとうございます。

福祉課 ☎84-0316

みんなの町はみんなで守る
平成21年度町防災訓練を実施しました

9月6日(日)、町内一斉に防災訓練が実施され、3848人が参加しました。

今回の防災訓練のテーマは、「見る」ではなく「体験する」として実施され、各地区では、自主防災会が中心となり、消火栓やバケツリレーによる消火訓練、非常食の炊き出し訓練、AEDや三角巾による応急処置訓練などが実施され、多くの参加者が汗を流し、防災意識を高めました。

また、新しい試みとして、平成21年4月から運用している全国瞬時警報システム(J-ALERT)で緊急地震速報を放送したほか、パレットガーデン自主防災会では、足柄消防組合のはしご車による救助訓練、上延沢自主防災会

では、水路の応急復旧訓練が行われました。今回の訓練は、中学生以下の子どもたちの参加も587人と、前回の569人を上回りました。特に中学生の参加者が大きく増加し、子ども



はしご車による救助訓練



子どもたちも積極的に訓練に参加しました

災害への意識の向上に期待が高まる結果となりました。皆さんも、ぜひ災害への備えについて、ご家族で話し合ってみてください。

下島女性消防隊が全国大会へ出場

10月22日(木)に横浜市消防訓練センター(横浜市戸塚区)で開催される第19回全国女性消防操法大会に県代表として出場する下島女性消防隊が、下島自主防災会訓練会場で軽可搬消防ポンプ操法を披露しました。

全国大会は、47都道府県から各隊が出場し、隊員5人による軽可搬ポンプを使った消防操法を行い、迅速さと正確さを競います。

大会に向けて、下島女性消防隊(14人)は、出場する5人の隊員を中心に、足柄消防組合の指導のもと、下島自治会、町消防団に協力してもらい、5月から練習に励んでいます。

防災訓練当日は、多くの参加者が見守るなか、規律正しく、安全確実なポンプ操法を披露し、会場から盛大な拍手が送られました。

環境防災課

☎84-0314